

## 行動計画書（案）

### 例会委員会

スローガン	「徹底的に学ぶ」		
活動の目的	経営課題への挑戦		
企画名	通常例会	開催月	5月／8月／11月
詳細	<p>テーマ：経営者の覚悟 後継者が中心で構成する部会において、経営者の覚悟は主軸のテーマ。各会員が自社の経営課題を明確に掴むためにも、自分自身が経営者の覚悟に気づく事は必須であり、本テーマを持って年間例会計画を行うものとする。</p> <p>◆報告者予定※（）は座長予定者 ・5月例会_辻野氏（秋村氏）_学びあえる組織が作れる経営者とは ・8月例会_門氏（川口氏）_同友会活動と後継者一同友会活動の実践 ・11月例会_上村氏（岡田氏）_同友会活動と創業者一実績と同友会活動</p>		
企画名	チャレンジ例会	開催月	7月／2月
詳細	<p>テーマ：経営課題への取り組み実践 上半期に経営課題と課題に向かったの取り組みを報告し、下半期に実際に取り組んだ様子と成果の報告を行う。またG討論では、課題を受けて討論を行い、改善に向けてのアイデアを出し合う。報告者については、青年部会に馴染めていない入会間もない会員さんを選出し、その報告者は指針セミナーを受講しているのがのぞましい。</p> <p>◆報告者予定※（）は座長予定者 ※報告者は打診中。 ・7.2月チャレンジ例会_辻元氏・政保氏（酒井氏）_実践！劇的Before&amp;After！</p>		
企画名	褒賞例会	開催月	3月
詳細	<p>テーマ：青年部会活動の実践への結びつき 卒業式として、各会員の活動の表彰を兼ねた例会を行う。報告者は、年度末を持って青年部会を卒業する会員を選出する。形式は2案を検討し年度内幹事会で審議承認を行う 1:報告者1名にて通常例会形式 2:報告者を複数名立ててのパネルディスカッション形式。</p> <p>◆報告者予定 ・報告テーマ；青年部会に一言物申す！ ・報告者候補：馬木氏・松倉氏・山下氏</p>		
企画名	勉強会	開催月	7月／1月／他
詳細	<p>テーマ：スキルアップ 具体的な課題解決に向けたスキルアップのための勉強会を年間2回以上行う。</p> <p>◆勉強会候補 決算書勉強会（数字に対する力の強化）、MG研修会（数字と計画力の強化）他 ◆講師及び共催他団体 会内会員（決算勉強会）あきんど・間デジ・KOTOYA（MG研修）他</p>		
企画名	G長研修	開催月	不定期
詳細	<p>テーマ：例会の質の向上 開催内容、参加誘引への仕組みなど、年間を通じて例会委員会を中心に議論を行い、幹事会にて承認後、研修を開催。研修修了者増加に務める。</p>		

## 増強委員会

スローガン	「徹底的に関わる part I」		
活動の目的	顔と企業が見えるネットワーク		
企画名	交流例会	開催月	6月／12月
詳細	テーマ：ビジネス交流 会員間の交流の強化を行い、強固な組織とネットワークの強化をはかる。 ◆プレゼンテーション予定者 ・6月交流例会_伊藤氏_類人猿診断でみんなの特性を知ろう!! 違いの性格分析（類人猿診断）を行い、グループわけをして交流を行う。交流で得られる成果は、自社にも日常的に活かせる内容。 ・12月X'mas大交流会_忘年会 複数のグループ分けからテーマに沿ったそれぞれの出し物を行う。		
企画名	入部式（同期会）	開催月	9月／2月
詳細	テーマ：新会員の歓迎と横の連携（退会防止） 同年に入会した会員同士で交流の促進を行う事で、関係性の強化と同友会活動の強化と退会防止につなげる。		
企画名	ファミリー企画	開催月	4月／10月
詳細	テーマ：会員間のプライベート交流 会員間での家族や子供も含めて関わり、青年部会独自のより深い絆づくりを行う 過去実績：BBQ、ハロウィンParty、キャンプ、釣り、運動会など		
企画名	ゴルフコンペ	開催月	6月／11月
詳細	テーマ：会員間のプライベート交流 ゴルフを通じて、会員間の交流を深めます。参加者には協賛を募りコンペ形式にて誰でも参加できるゴルフ交流会を行います。		

## 渉外委員会

スローガン	「徹底的に関わる part II」		
活動の目的	より強固な組織づくり		
企画名	役員1泊研修	開催月	3月
詳細	テーマ：役員間の絆の強化と同友会理念の浸透 1泊の研修を通じて、2019年度総括および2020年度方針作成とより深く議論を進める事と深い交流を行う事で、役員間の絆を深めます。		
企画名	役員研修	開催月	5月／10月
詳細	テーマ：役員の青年部会方針の浸透 1日間の研修で、役員を中心に青年部会活動の浸透を行います。  05月→2019年度方針と同友会理念の浸透 10月→2019年度方針の中間検証		
企画名	近畿圏サミット	開催月	毎月
詳細	テーマ：近畿圏他府県同友会との交流 毎月の近畿圏サミットへの交流促進と参加することによる交流強化を行います。		